

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 9 月 7日

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---------|--|-----------|--|
| 事業所番号 | 3470204359 | | |
| 法人名 | 有限会社 誠友 | | |
| 事業所名 | グループホーム「ふぁみり～大宮」 | | |
| 所在地 | 〒733-0007 広島市西区大宮3丁目1番18号 (電話) 082-509-0882 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年7月25日 | 評価結果市町受理日 | |

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=3470204359-00&PrefCd=34&VersionCd=022 |
|-------------|---|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|----------------------|
| 評価機関名 | 一般社団法人広島県シルバーサービス振興会 |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 |
| 訪問調査日 | 平成25年9月6日 |

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

民家を活用したグループホームであり、施設らしくない為 家で暮らしているという気持ちで生活して頂ける。また、味噌汁の匂いで目覚め 昼食・夕食作りの包丁の音や臭いで、1日の時間の流れを耳や鼻で感じとれる。淋しくなったら、みんながいるリビングへ、1人になりたければ、居室へ自由に過ごして頂け、いつも笑い声がどこからか聞こえてくるような家庭的なホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

木造民家を利用したホームで、1階にあるリビングルームは集いの場となっている。そこには職員がいつも居るので、入居者は自然とリビングに足を運び、職員や入居者達と談笑し楽しく過ごしている。また職員は、声をかけられたらお茶を出し、話し相手が必要なら傍に座って話を聞き、自分の家で過ごすように気楽に過ごせるように配慮している。職員は入居者の話に耳を傾け、入居者の小さな思いも聞き逃さず、職員同士で話し合って思いが実現できるように努めている。庭には野菜を栽培し、入居者と一緒に収穫し日々の料理に利用している。事業所本部も職員の要望に耳を傾け、職員が楽しく働ける環境を作るように職員と一緒に努力している。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------|------|--|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 理念について スタッフ全員で見直し、案を出し合って自分達の理念を作り直してみました。入所者の方々の生活を支えながら、いつも自然に理念が実践されているものでありたいという思いのものです。 | 理念について、職員全員で話し合いを行い「原点はお客様」とし、その下に、年間施設目標を設定し、職員全員で達成できるように努力している。また、年度末には、年間目標の評価を行い、次年度の目標・スケジュールを決めている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 積極的とはいえないが少しずつ可能な限り参加している。節分の時には何人参加するのかわからないのに、事前に7人分の豆を 確保していただきました。 | 町内会に加入し、地域行事を教えてもらい、近隣の神社で行われる夏祭りでは踊りを楽しんだり、節分に参加して住民と交流している。町内会長を通じ、ホームの案内や介護相談のイベントを回覧してもらったり、火災時の協力依頼などいろいろと協力して頂いている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 今後、グループホームの大きな課題だと思っている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 会議での報告や話し合いの中で町内会長様や地域包括様からの意見や指摘をホームのサービスに取り入れる。(玄関のスズなど) | 運営推進会議は定期的開催されており、出席者との懇談から、地域の行事情報を得て活用している。またアドバイスも頂き、「入居者が玄関から外に出るのが分かるようにドアに鈴をつける」ことを実行し、役立てている。 | 前年1年間では、運営推進会議に入居者や家族の出席がなく今後は検討して頂きたい。入居者が少なく、家族も仕事で忙しいとのことであるが、敬老会などの行事と会議を同一日にするなど工夫をし、出席していただけるように努力し運営推進会議をより意義のある会にして頂きたい。 |
| 5 | 4 | ○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。 | 生活課の担当者が、現況確認の為、何度か訪問があり、その時々相談に対し、適切な意見をして下さっている。 | 市の生活課担当者が訪問した際に、入居者の相談をしたり、アドバイスを受け入居者の支援にあたっている。運営推進会議で意見交換をしている地域包括支援センターにホーム職員の研修を依頼し、サービス向上に努めたいと考えている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | <p>取り組んでいる。民家を利用してのホームなので、一般に言われている拘束の意味の施錠はできず認知症の方が入所されているホームでもあるので、鈴をつけたりと工夫している。</p> | <p>ホームの倫理規定に「身体拘束を行わない」と明記している。毎年1回必ず「身体拘束を行わないケア」についての研修を行い、職員に周知している。</p> | |
| 7 | | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | <p>施設内研修でスタッフに理解と防止を徹底していく。</p> | | |
| 8 | | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p> | <p>入所者の方の中でも、利用されている方がいるので 施設内研修で理解を深めていく。</p> | | |
| 9 | | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | <p>入居前、入居時に説明している。</p> | | |
| 10 | 6 | <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p> | <p>意見要望があった時、早急に話し合いをし、改善している。苦情が出た場合、ただちに話し合いをし、対応している。</p> | <p>家族が、入居者の受診介助に来られた際に、職員が要望を聞いている。また、入居者からの要望は、外出希望に関することが多いが、それに対しては、職員で協議し実現できるようにしている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p> | <p>毎日申し送り、月1回のミーティングにて、スタッフの意見や提案を引き出し申し送りノートにて決定・統一を行っている。</p> | <p>月1回行われる職員ミーティングには、事業本部担当者も毎回出席し、職員の要望を聞き、職員が働きやすい環境を作るように努力している。職員の要望により、給料日の変更や自転車などの物品の購入がなされている。</p> | |
| 12 | | <p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p> | <p>代表者は管理者やスタッフの就業状況に配慮が見られ、働きやすい環境にあるべく整備をしてくれている。</p> | | |
| 13 | | <p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>経験年数に合わせた研修に参加してもらい、ケアに反映したりスタッフの意識向上に努めている。研修報告書に必ずスタッフ全員が目を通してしている。</p> | | |
| 14 | | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p> | <p>管理者は交流を通してサービスの質の向上に努める。ネットワークづくりまではいかないものの、情報交換をする程度のグループホームはあり、交互のスタッフ研修をと考えている。</p> | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p> | <p>コミュニケーションを重ね 入所者の方が安心して生活できるようプラン作りに努めている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p> | <p>入居前・入居時に話を聞きプランに取り入れ、安心して任せていただけるよう努める。</p> | | |
| 17 | | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p> | <p>入居時にしっかり話をし、プランに取り入れる。</p> | | |
| 18 | | <p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p> | <p>その人のできることはしてもらい可能性を見いだして暮らしを支えている。</p> | | |
| 19 | | <p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p> | <p>ホームでの出来事を話したりおたよりで行事や生活ぶりを共有しながら家族とスタッフとで支えている。</p> | | |
| 20 | 8 | <p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p> | <p>ご友人の面会、ご近所だった方の面会など、これまでと変わらず支援していく。また、面会に行ってみようと関心を持って頂けるよう、大宮だよりに生活の一部をのせて働きかけている。</p> | <p>近所に住む知人が訪問された際には、リビングで一緒にお茶を楽しんだり、知人・親戚に年賀状を出すなど関係が継続するように支援している。また、家族にもできるだけ関心を持ってもらい、ホームを訪問してもらえるように、ホーム便りに入居者の近況や写真を添え送付している。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | リビングや庭の畑など共通の話題で、皆で喜んだり驚いたり、昔を思い出してみたりと、ここで一緒に生活しているという実感が、もてるような雰囲気作りや話題作りをしている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 以前、入所されて、ホームでお亡くなられた方の家族より、ご紹介のお電話を頂いたケースがあり、入所時全く交流のなかったご家族が生前の母の姿がみたい、おばあちゃんってどんな人だった？と遠方よりたずねてこられたケースもありました。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 食後はあつのお茶！など、これまでの生活の中にあつた小さなことを少しずつ一人ひとりの思いにあわせて取り入れていく。グループホームならではの心配りをしていく。 | 入居者が、リビングで団欒されている時などに、つぶやかかれてた思いを職員が聞き漏らさず、他の職員に伝え、入居者の意向を共有している。また、入居者の意向が実現できるように職員間で話し合い支援している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 家族や本人より聞き取りをし、自分のダンス、写真など、自分らしさのある部屋の環境などに整える。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | 一日のホームの流れの中にも、一人になりたい時間だったり、大好きなドラマには部屋に戻ったり、お経を上げるために戻るなどの、自分でいられる過ごし方をしてもらう。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p> | 各担当者が月々のモニタリングにあたるとともに、アセスメントにも関わってケアプラン作成に取り組んでいる。 | アセスメント・モニタリングは担当職員が行い、職員ミーティングで他の職員の意見も取り入れ、ケアプランの見直しを行っている。 | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | 生活記録へ記入し送り時に意見交換し実践へと活かしている。 | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p> | 外出、外泊など自由にできるよう支援している。 | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p> | 要望があれば支援していく。 | | |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p> | 本人、家族の希望のかかりつけ医があれば支援している。提携医ではなく以前かかっていた病院への入院を希望されたケースがあり、提携医との連携のもと、入院に至った。 | 本人・家族の希望により、かかりつけ医を決めており、今までの主治医に受診したりホームの提携医師に受診するケースがある。入居者の状況が変化したら、かかりつけ医に連絡し対応している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|---|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p> | 受診の際、協力医に相談している。 | | |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | 入院の際には、情報交換しできるかぎり、支援を行っている。（洗濯物など） | | |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p> | 重度化した時点で、終末期も視野にいれ、家族、かかりつけ医との話し合いを行い確認しスタッフ間の連携を強化し支援を行っている。 | ホームでは、希望があれば看取りを行う方針であり、今までに数例の事例がある。重度化した場合には、看取りを行うかを家族と相談している。看取りを行う際には、医師と家族が面談し今後の方針を決め、入居者の状況をその都度、家族に報告し、支援している。 | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p> | 施設内研修にて、急変時等の意識統一をし、連絡網の活用を周知している。 | | |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p> | 町内会長にも、協力をお願いしている。避難訓練、消化訓練もしている。 | 消防署からの指示を参考に災害マニュアルを作成し、見えやすいところに掲示している。火災等の際には、近所に住む職員に連絡を取り、駆けつけてもらい、また、近所の住民にも協力してもらえる体制ができている。 | 災害時のマニュアルや定期的避難訓練は行われているが、職員が1人の夜間の災害対策を今後は検討して頂きたい。消防書にアドバイスを求め、夜間時を想定した避難訓練を行うなど、職員が速やかに行動して入居者を安全に誘導できるよう対策を考えていただきたい。 |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | どのように呼んでほしいかを聞いて本人の呼んでほしい呼び名で呼んでいる。 | ホームの倫理規定に「尊厳」と「プライバシー尊重」が明記してある。年に1回職員研修を行い周知している。入居者のプライドを傷つけないように、トイレ誘導の際には、他の入居者に聞こえないように声かけをする指導をしている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | どうしてほしい。何がほしい。何が食べたいと、できるかぎり希望をかなえるべく、支援している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 食事、入浴以外は自分の過ごしたいように過ごされている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | 自分の着たいものを選んで来て頂く、時に、着物を着ておいてくれる方もいます。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 「御寿司が食べたいね。」の声が出れば御寿司にしてみたり、時節に応じておはぎやいなり寿司を入所の方と一緒に作ったりしている。 | 食事の献立は予め決められているが、入居者の要望；「すしが食べたい」「おはぎが食べたい」があれば、その都度、臨機応変に対応し、入居者と一緒に作るようにしている。庭で収穫した野菜を使ったり、入居者と一緒に準備をしたりと食事を楽しむ工夫をしている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p> | 食事摂取量を毎食、確認し記録している。 | | |
| 42 | | <p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p> | 毎食後，一人ずつ順番に声かけし、見守りスタッフを1名つけて行っている。 | | |
| 43 | 16 | <p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p> | 尿意・便意はまだしっかりあり自立。3名パット使用の方がいるが、パット交換もご自分でされるなど、尿もれ程度である。 | 尿意や便意を自覚できる入居者が多いので、排泄の失敗がないように、入居者に声かけをトイレ誘導を行っている。 | |
| 44 | | <p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p> | 排便記録をつけており、出ていない時には、すぐ下剤を内服するのではなく牛乳を飲んでいただくなどしている。 | | |
| 45 | 17 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p> | 入浴は週3回で特に順番は決めてはいないが、ゆっくり入っていただけるよう配慮している。 | 入居者の入浴は、週3回午後に行われているが、今後は入居者の状況に応じて夕方にも入浴できるように検討している。夏場のシャワーなど常に入居者の状況に合わせて臨機応変に対応するように心がけている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p> | <p>空調管理をし、快適に休めるようにしている。</p> | | |
| 47 | | <p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p> | <p>医療ノートに記録し、薬の内容を理解しておくようにしている。また薬は手渡しし、最後まで内服できたか確認する。</p> | | |
| 48 | | <p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p> | <p>できることはしていただけるよう、支援している。縫い物の得意な方⇒ぞうきん縫い</p> | | |
| 49 | 18 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p> | <p>希望にそっては、今現在難しいが、できるかぎり、希望にそえるよう努力している。</p> | <p>入居者と一緒にはできるだけ外出するようにし、週に3回程度はホームの周りを散策している。買い物のための外出は、なかなか実現できていないが、今後は車を用意し外出することを検討している。</p> | |
| 50 | | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p> | <p>金銭預かりはしていない。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | 支援している。 | | |
| 52 | 19 | <p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | いつでも、リビングに来て、ソファに座ってTVをみてもいいし、居室に戻っていてもいいし、自由にさせていただいている。 | ホームのリビングルームが、自分の家の居間のように気兼ねなくつろげる様に職員は配慮している。声を掛ければ、いつでもお茶を出し、話し相手が必要なら話しかけるように心がけている。また、玄関には庭に咲いた花が飾られている。 | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | テーブル席、ソファと自由にどこに座っても良いようにしている。 | | |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | 自分の使用していた、タンス、仏壇等をもってきていただいている。小さな冷蔵庫を持ってきている方もいる。 | 今まで仕事に使用していたミシンを持ち込んだり、仏壇を持参したりと、思い出のある物を部屋の中に置いて、住みやすい環境を整えている。 | |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | 手すりを使って昇降できるようにしている。自室は1人ひとり理解できている。 | | |

| V アウトカム項目 | | | |
|-----------|--|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 | ○ | ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない |

| | | | |
|----|---|-----------------------|---|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない |

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム「ふぁみり〜大宮」

作成日 平成25年10月16日

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点, 課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|--|----------------------------|-----------------------------------|------------|
| 8 | 15 | 好き嫌いのある方に対し、楽しく食べてもらえるよう、その方用に調理を変えてお出しするなどしている。 | 食事から季節を感じられるよう時節のものを取り入れる。 | 一緒に下ごしらえをしたり、希望を取り入れた献立の工夫に勤めている。 | 毎日 |
| 9 | 16 | 状態に応じて対応している。トイレの理解が困難な方の誘導や声かけが課題。 | 一人一人に合わせた排泄の自立支援を行っていく。 | 時間をみながら声かけする。 | 毎日 |
| 10 | 18 | 車がないので遠方への外出は困難である。 | ホーム周辺の散歩には出かける。 | 近日中に車が入るので、入所者の希望に添えるよう努める。 | 1ヶ月 |
| 11 | 19 | 普通の家づくりを生かして良い点もあるが不便な部分はスタッフがサポート。 | 自由に遠慮なく使用して頂けるような雰囲気作り。 | 居心地の良い空間作りに心がける。(花・写真) | 毎日 |
| 12 | 20 | 認知症が進行している方の居室の住みやすい環境作り。 | ご自分の部屋として居心地良く使用して頂く。 | 使い慣れた家具や仏壇・写真などを飾っている。 | 毎日 |
| 13 | 8 | 家族の縁がうすい方、実子のいない方が多く、友人や親戚の方との関係を継続。 | 現在の交流が遠くならないよう支援していく。 | 手紙や大宮だよりの活用など交流が継続されるよう支援する。 | 1年 |
| 14 | 17 | 週3回の維持 | 夏期の夕方のシャワー浴など、柔軟に対応していきたい。 | 来年の夏の目標として取り組みたい。 | 1年 |

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。